

防火管理技能講習受講申請書

予約番号()

東京都知事登録講習機関 公益財団法人 東京防災救急協会理事長 殿		年 月 日	
申請者氏名			
火災予防条例第55条の3の2第1項の規定により、次のとおり講習を受講したいので申請します。			
フリガナ			生 年 月 日
氏 名	(姓)	(名)	年 月 日
現住所	〒 TEL ()		
フリガナ			
勤務先 名 称	TEL ()		
勤務先 所在地	〒 所属会社名 () 建物名称 ()		
勤務先 業 種	1 消防設備業 2 消防コンサルタント業 3 建築設計業 4 設備設計業 5 ビル管理・メンテナンス業 6 不動産業 7 警備業 8 ホテル・旅館業 9 物品販売業 10 消防行政 11 建築行政 12 前記以外の自社ビル管理部門 13 その他 ()		
受講日	年 月 日 ~ 年 月 日		
受講資格	受講資格(各種資格・免状等)を記入し、その写しを添付してください。		
	資格・免状等の名称及び種別	資格・免状等を与えた者の名称	取得年月日・番号

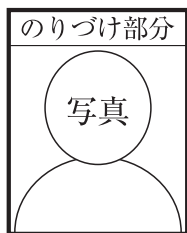
受 付 欄	受講資格の免状写し(コピー)を貼付してください。
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 20px;"> <p>受講資格免状等の写し(コピー)をこの大きさに切って貼付してください。</p> <p>この欄に添付できない場合は、写し(コピー)をそのまま同封して送付してください。</p> </div>

- 備考 1 受講案内をよく読んで、楷書で正確に記入してください。
2 ご記入いただいた情報は、防火管理技能講習に関する業務及び今後の受講案内の送付等に、利用させていただきます。

防火管理技能講習
写真貼付票

受講 番号	
氏名	

修了証写真貼付欄
(6か月以内に撮影した写真)



年 月 撮影

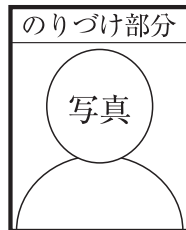
- 縦3cm×横2.4cmの上三分身のもの
- 裏面に氏名、生年月日を記入し、上面部分だけをのりづけしてください。
- 裏面を力強く書きすぎると写真が凹凸になりますので注意してください。
- コピーは不可
(整理票の写真も同様です)

※ 太線内のみ記入してください。

防火管理技能講習整理票

受講 番号	
フリガナ	
氏名	
生年月日	年 月 日
受講 月日	月 日～ 月 日

写真貼付欄
(6か月以内に撮影した写真)



年 月 撮影

講習出欠状況	
第1日	第2日

※ 太線内のみ記入してください。

防火管理技能講習受講票

受講 番号	
フリガナ	
氏名	
生年月日	年 月 日
受講 月日	月 日～ 月 日

- 受付は、講習を実施する会場で午前8時30分から行います。
- 受講当日に遅刻、早退は原則として認められませんので、時間を厳守してください。
- 筆記用具を持参してください。
- 講習用テキストは、当日会場でお渡しします。
- 会場には、駐車場がありませんので、車、オートバイでの来場はご遠慮ください。

講習出席証	
第1日	第2日

※ 太線内のみ記入してください。

防火管理技能講習
受講手数料振込確認票

受講 番号	
氏名	

振込控貼付欄

の り づ け

(注意)

- 受講手数料(教材費・消費税を含む。)は受講申請後に返信用封筒が届きましたら、銀行窓口、ATM、ネット銀行等で振込んでいただき、その際に発行される振込明細書等の写しを貼付してください。
- 講習用テキストは、この「振込控」と引換えに講習会場でお渡しします。
- 受講手数料の振込明細書等の写しが貼付されていない場合は、受講できませんのでご注意ください。

※ 太線内のみ記入してください。

✂ 申請受付機関できりとりします

✂ 申請受付機関できりとりします

✂ テキスト引換えのときまでできりとりしないでください

防火管理技能講習受講申請書(記入例)

予約番号()

東京都知事登録講習機関 公益財団法人 東京防災救急協会理事長 殿		〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日 電話でお伝えした予約番号を記入してください。	
申請者氏名 東京 太郎		修了証に記載される氏名となりますので申請者ご自身で正確に記入してください。	
火災予防条例第55条の3の2第1項の規定により、次のとおり講習を受講したいので申請します。			
フリガナ	トウキョウ	タロウ	生 年 月 日
氏 名	(姓) 東京	(名) 太郎	〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日
現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都足立区西新井〇-〇-〇		TEL 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇
フリガナ	トウキョウチヨダカブシキカイシャ カンダシテン		
勤務先 名 称	東京千代田株式会社 神田支店 (派遣されている場合は派遣先会社名)		TEL 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇
勤務先 所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都千代田区外神田〇-〇-〇		所属会社名 (〇〇警備株式会社) 建 物 名 称 (〇〇ビル)
勤務先 業 種 <small>〔主なもの 1つ選び 〇印する〕</small>	1 消防設備業 2 消防コンサルタント業 3 建築設計業 4 設備設計業 5 ビル管理・メンテナンス業 6 不動産業 ⑦ 警備業 8 ホテル・旅館業 9 物品販売業 10 消防行政 11 建築行政 12 前記以外の自社ビル管理部門 13 その他 ()		
受講日	〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日 ~ 〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日		
受講資格	受講資格(各種資格・免状等)を記入し、その写しを添付してください。		
	資格・免状等の名称及び種別	資格・免状等を与えた者の名称	取得年月日・番号
	甲種防火管理講習修了証	東京消防庁消防総監	2021.10.26・4121752260

受 付 欄	受講資格の免状写し(コピー)を貼付してください。
	<p>受講資格免状等の写し(コピー)をこの大きさに切って貼付してください。</p> <p>この欄に添付できない場合は、写し(コピー)をそのまま同封して送付してください。</p>

- 備考 1 受講案内をよく読んで、楷書で正確に記入してください。
2 ご記入いただいた情報は、防火管理技能講習に関する業務及び今後の受講案内の送付等に、利用させていただきます。

実務経験証明書

氏名			
建物名等			
所在地			
建物用途・階数 延べ面積	用途：	階数： 建て	延べ面積： m ²
実務経験	年 月 日 から 年 月 日 まで		
実務の内容	(例：防火管理業務の補助「火元責任者」)		
建物名等			
所在地			
建物用途・階数 延べ面積	用途：	階数： 建て	延べ面積： m ²
実務経験	年 月 日 から 年 月 日 まで		
実務の内容	(例：防火管理業務の補助「火元責任者」)		
建物名等			
所在地			
建物用途・階数 延べ面積	用途：	階数： 建て	延べ面積： m ²
実務経験	年 月 日 から 年 月 日 まで		
実務の内容	(例：防火管理業務の補助「火元責任者」)		
通算期間	年 月		
事業所証明欄	上記のとおり、実務経験を有することを証明します。 年 月 日 所在地 事業所名 証明者氏名		
	印		

注) 証明者は、現在又は最終勤務先の代表者(部課長でも可)の証明を受けてください。

注) 本証明書は、別添えの「受講資格と必要な証明書類」12②の証明書です。

受講資格と必要な証明書類

受講資格	必要な証明書類
1 消防法第17条の6第2項に規定する消防設備士	消防設備士免状の写し
2 消防法施行規則第31条の6第6項に規定する消防設備点検資格者	消防設備点検資格者免状の写し
3 消防法施行令第3条第1項第1号イに規定する甲種防火管理講習を修了した者	甲種防火管理講習修了証の写し
4 消防法第8条の2の2第1項に規定する防火対象物点検資格者	防火対象物点検資格者免状の写し
5 消防力の整備指針第32条第3項の規定に基づき、予防技術資格者の資格を定める件（平成17年消防庁告示第13号）に基づき、消防庁長官が指定する試験に合格した者	予防技術検定合格証明書の写し
6 火災予防条例第63条の2第2項に規定する防火安全技術講習の修了証の交付を受けている者	防火安全技術講習修了証の写し
7 火災予防条例第55条の2の3第1項に規定する防災センター要員講習修了証の交付を受けている者	防災センター要員講習修了証の写し
8① 建築基準法施行規則（昭和25年建設省令第40号）第6条の6の表の1項のは欄に規定する登録特定建築物調査員講習修了者	建築物調査員資格者証又は登録特定建築物調査員講習修了証明書の写し
② 建築基準法施行規則等の一部を改正する省令（平成28年国土交通省令第10号）による改正前の建築基準法施行規則（昭和25年建設省令第40号。以下「旧施行規則」という。）第4条の20第1項各号に掲げる者	特殊建築物調査資格者認定証又は登録特殊建築物等調査資格者講習修了証明書の写し
9① 建築基準法施行規則第6条の6の表の2項のは欄に規定する登録建築設備検査員講習又は同表の3項のは欄に規定する登録防火設備検査員講習修了者	建築設備検査員資格者証又は登録建築設備検査員講習修了証明書若しくは登録防火設備検査員講習修了証明書の写し
② 旧施行規則第4条の20第3項各号に掲げる者	建築設備検査資格者認定証又は登録建築設備検査資格者講習修了証明書の写し
10 建築士法（昭和25年法律第202号）第2条第2項に規定する一級建築士又は同条第3項に規定する二級建築士	建築士免許証の写し

受 講 資 格	必要な証明書類
11 建築士法施行規則(昭和25年建設省令第38号)第17条の18に規定する建築設備士	建築設備士試験合格証書の写し
12 前各号に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると消防総監が認める者	<p>① 消防力の整備指針第32条第3項の規定に基づき、予防技術資格者の資格を定める件(平成17年消防庁告示第13号)附則第4項各号に該当する経験を有していることの証明書</p> <p>② 火災予防条例第55条の3の2第1項各号に掲げる防火対象物その他これに準ずる防火対象物において、火元責任者その他の防火管理の業務に従事する者として3年以上の経験を有していることの証明書</p>

※ 受講資格の修了証等については、有効期限を確認してください。